

平成27年度第1四半期「景気動向調査」結果報告

製造業では景気回復に期待感、非製造業では緩やかな持ち直しの動き

コメント: 【製造業】

売上(出荷)高では、前期調査に続き緩やかな回復の動きが続いた。昨年比では悪化の動きが見られるも、今後の見通しとしてはかなりの回復を期待。今後持ち直しの動きが見られるかが注目される。

景況感では、昨年比より悪化幅は減少したものの、厳しい水準を推移している。また回復、悪化の繰り返しで不安定感が拭えない。今後の見通しについては売上高同様に改善を期待する事業所が多かった。

平成27年度の採用状況については既に正社員を採用したと回答された事業所が多かった。

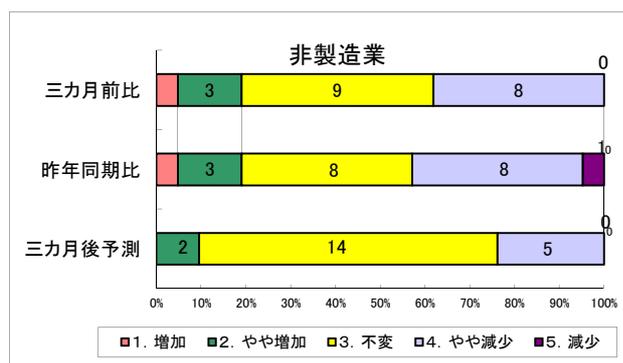
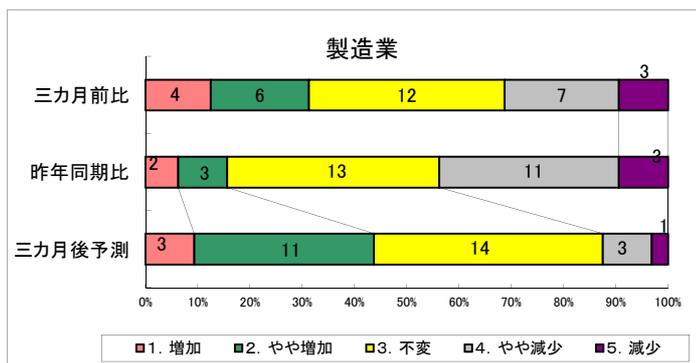
【非製造業】

売上(出荷)高では、今期再び回復に転じ、回復幅も昨年比より拡大しており、持ち直しの動きが見られた。一方で今後の予測としては慎重な見通し。製造業とは逆の動きで、このまま回復基調が続くか注目される。

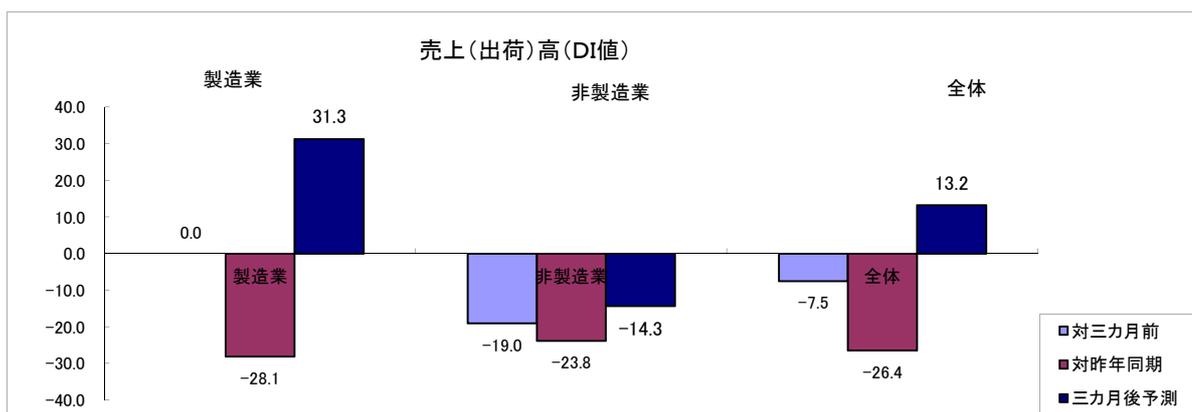
景況感では、製造業同様に不安定感が残るものの、大きく回復へ転じている。三ヶ月前比では、0.0の水準まで回復し、今後プラスの値に転じていけるかが注目される。三ヶ月後予測では28.5悪化し▲19.0と慎重な見通し。

平成27年度の採用状況については7社が「正社員を採用した」と回答され、最多であった。今後採用予定と回答された事業所もあった。

1. 貴社の売上(出荷)額について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	0.0	-28.1	31.3	-10.3	-6.9	10.3
非製造業	-19.0	-23.8	-14.3	-38.1	-33.3	9.5
全体	-7.5	-26.4	13.2	-22.0	-18.0	10.0

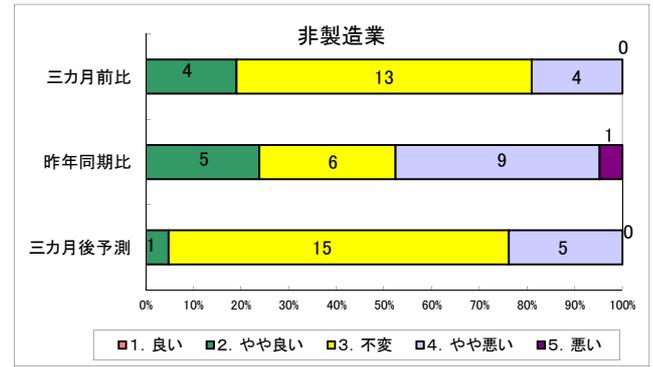
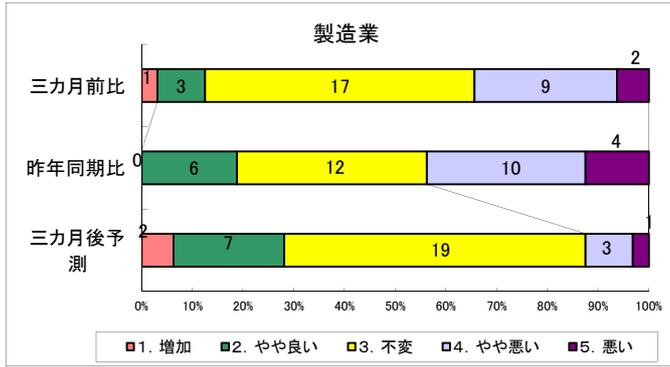


対三カ月前比において、製造業ではDI値が▲10.3から10.3回復し0.0となっている。緩やかではあるが改善の動きが続いており、今回「増加」「減少」と回答された事業所が同数で水準が0.0まで上昇した。これからプラスの値へ転じていけるか、次期以降の調査に注目する。非製造業では▲38.1から19.1回復し▲19.0と、回復の動きが見られたが未だ厳しい水準。製造業同様に今後回復の兆しが見られるかが注目される。

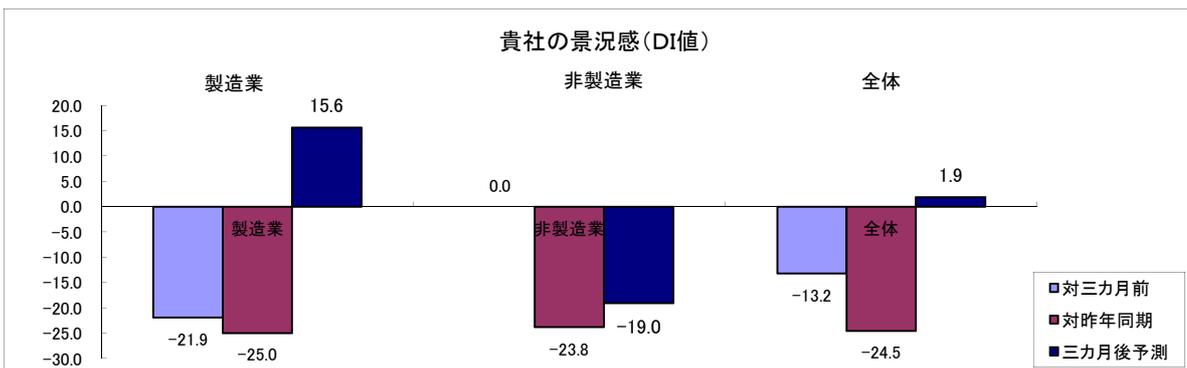
対前年比において、製造業では▲6.9から21.2悪化し▲28.1と、回復基調ではあるものの昨年比では厳しい水準。昨年比では平成26年2月調査以降緩やかな減少に歯止めがかからない状況が続いている。非製造業では▲33.3から9.5回復し▲23.8と、昨年以上の回復幅であり持ち直しの動きが見られた。

三カ月後予測において、製造業では10.3から21.0回復し31.3と今後は売上げの増加を期待する声が多かった。一方で非製造業では9.5から23.8悪化し▲14.3と慎重な見通し。今期改善の動きが見られるも、先行きについては不安を感じる事業所が目立つ。

2. 貴社の景況感について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	-21.9	-25.0	15.6	-6.9	-6.9	-3.4
非製造業	0.0	-23.8	-19.0	-23.8	-42.9	9.5
全体	-13.2	-24.5	1.9	-14.0	-22.0	2.0

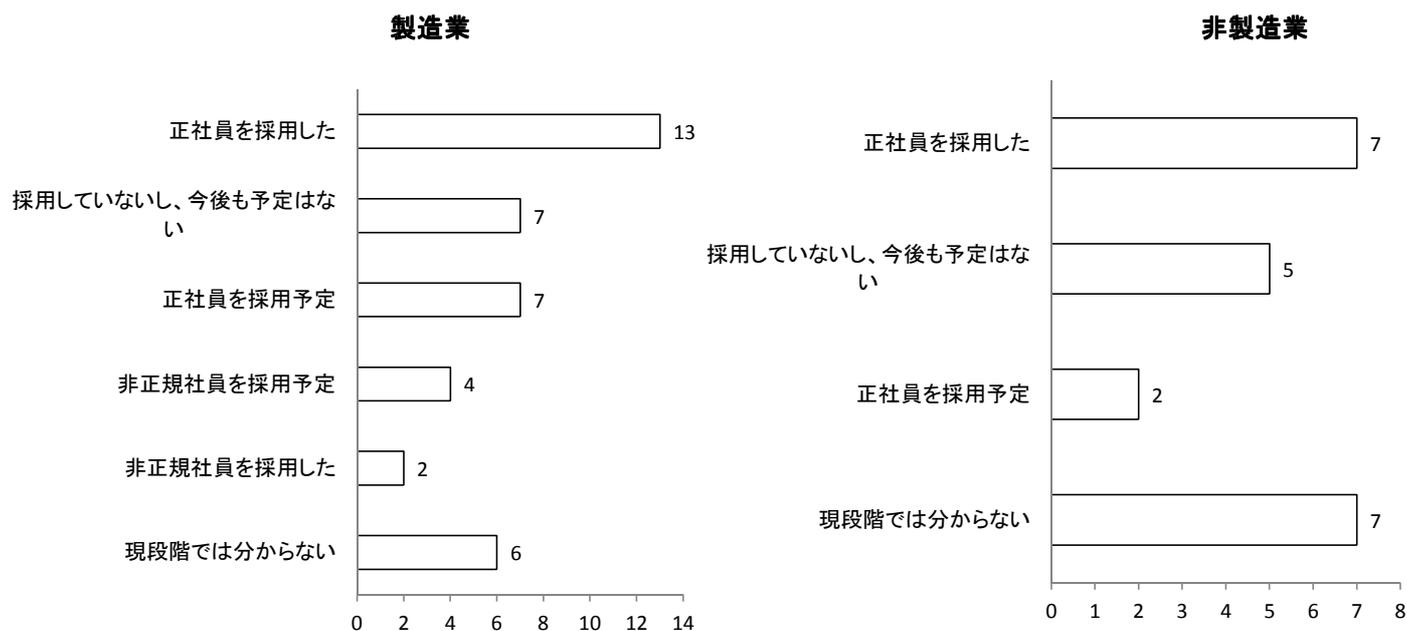


対三カ月前比において、製造業ではDI値が▲6.9から15.0悪化し▲21.9と、売上は改善されているものの、景況感については「悪い」と回答する事業所が目立った。非製造業では▲23.8から23.8回復し0.0となっており、製造業とは逆の動きで大幅な回復の動きがあった。回復、悪化を繰り返し推移し、不安定感が拭えない。

対前年比において、製造業では▲6.9から18.1悪化し25.0と昨年と比較し悪化幅は縮まるも、厳しい水準である。非製造業では▲42.9から19.1回復し▲23.8と、景況感は昨年以上の回復幅である。次期以降、売上の増加・景況感の改善に転じていけるかが注目される。

三カ月後予測において、製造業では▲3.4から19.0回復し15.6と、売上高同様に今後は回復を期待。非製造業では9.5から28.5悪化し▲19.0と、マイナスの値に転じ、予断を許さない状況が続く。

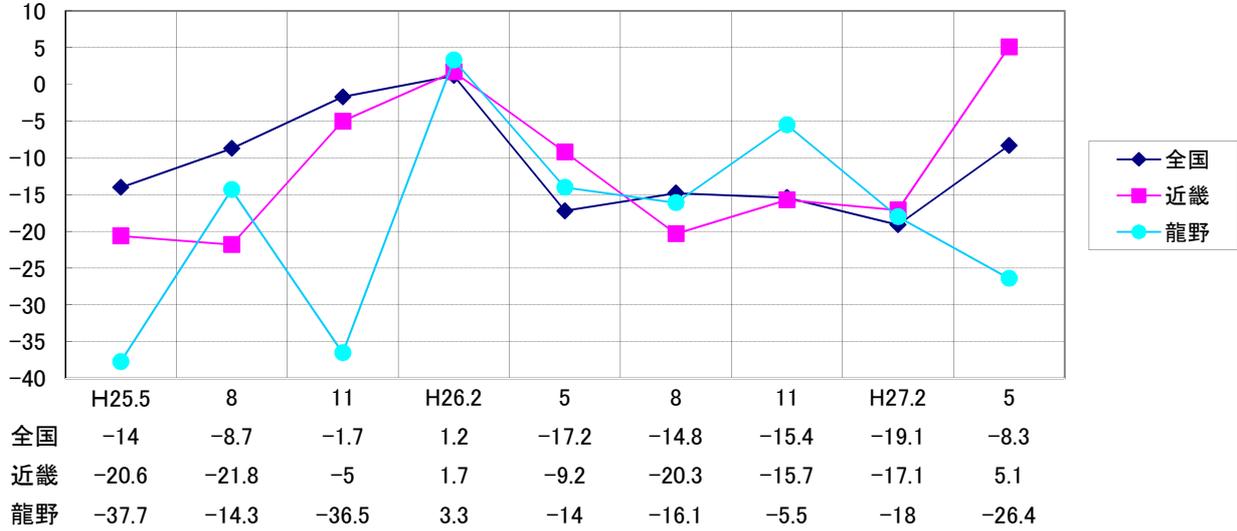
3、貴社の平成27年度の採用(平成27年4月～平成28年3月までに入社)について



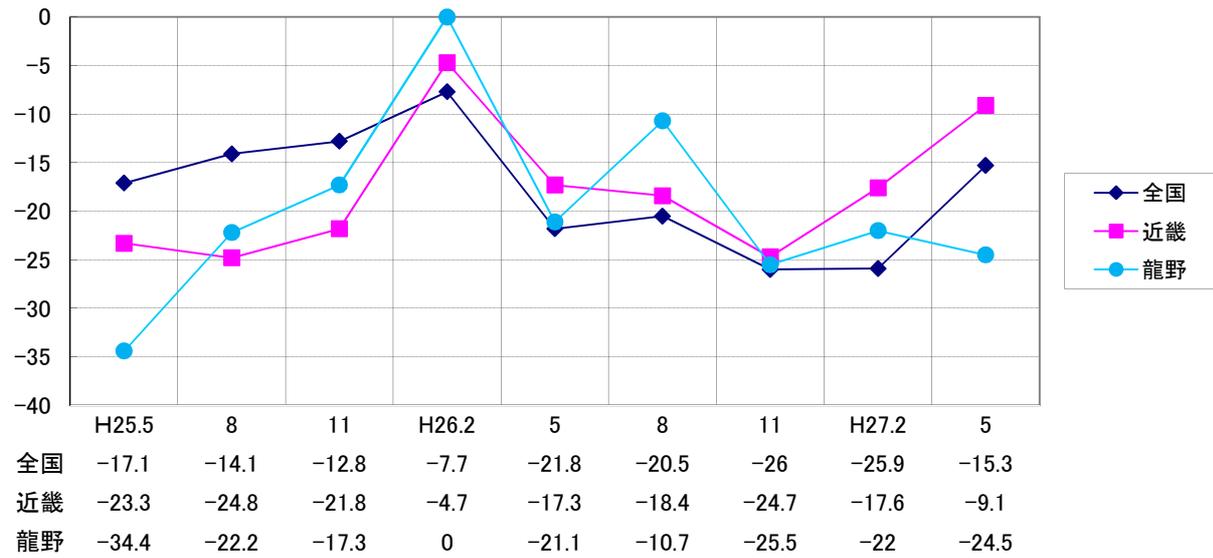
平成27年度の採用状況について、製造業ではすでに正社員を採用したと回答された事業所が多く、13社であった。また今後、7社が正社員、4社が非正規社員を採用予定と回答。非製造業では「正社員を採用」と7社が答え、最多回答であった。今後の予定としては2社が正社員を採用予定。

全国・近畿ブロック調査との比較

売上(出荷)額 対前年比



貴社の景況感 対前年比



全国・近畿ブロック別調査………日本商工会議所実施のLOBO(早期景気観測)調査
 ※H27. 5の数値は4月度実施分を掲載

調査概要

1. 調査目的 四半期ごとに景気動向調査を実施し、管内景況を恒常的に把握する。
調査を実施し恒常的に管内景況を把握する。
2. 調査期間 平成27年4月27日～5月8日(基準日5月1日)
3. 調査方法 FAXIにより依頼、回答
4. 調査対象 各役員議員、部会役員 128社

※DI値＝「好調＋やや好調」(持ち直す)の回答割合から「悪い＋やや悪い」(悪化する)の回答割合を差し引いたもの。数値が高いほど景況感が良く、低いほど悪い。
プラス100が最高値、0が平均、マイナス100が最低値を示す。

5. 回答企業の属性

所属部会	対象数
一般工業	22
建設業	17
醤油工業	7
食品工業	13
皮革工業	17
公益業	17
サービス業	9
理財	8
商業	18
合計	128

調査対象	対象数	回答数	回答率
製造業	76	32	42.1%
非製造業	52	21	40.4%
合計	128	53	41.4%